他の機関との連携による選挙出前授業の例

税務署と連携した模擬選挙を実施 【船橋市選挙管理委員会の取組】

税務署とタイアップし、候補者の「税制・増税等」の主張を基に模擬選挙を実施

- ・ 授業は1コマ(50分)で模擬投票と租税教室を交えて行う
- ・ 進行、投票の仕方、税のしくみなどの説明等を担任教員、市選管職員、税務署職員がそれぞれ分担して実施
- ・ 今後も市内高等学校に呼びかけて、この取組を広めていく予定
- ・ これを機に、選管も新たに市の租税教育推進協議会に構成員として参加見込み

(授業のながれ)

- ・ 一週間前から教室に、租税を中心とした政策を主張する2人の候補者のポスターを掲示
- ・ ポスターの内容を基に模擬投票を実施(実際の選挙で使用されている記載台や投票箱を使用するほか投票用紙も本物と同じ素材のもので投票)
- ・ 開票作業の間に、税務職員から税の種類やしくみ、私たちの生活と財政の役割などの説明を受けて、自ら投票をした候補 者の主張の内容を再確認。
- ・ 選挙結果も参考に、断片的な情報だけでなく、候補者の主張する内容をよく理解した上で投票することの重要性を学習



